



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第33号

発行:2009年1月15日  
発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守

## 新年のご挨拶

～ 選ばれる鵬友会を目指して! ～

特定医療法人社団鵬友会 理事長 児玉 喜直



明けましておめでとうございます。

さて今年も昨年に続き、晴天続きの明るい年明けでしたが、社会的には決して明るいとは言えずアメリカに端を発した同時不況の荒波はこの日本をも呑み込み、雇用に伴う社会不安から殺伐とした事件が毎日伝えられております。今、社会は方向性を見失い、何を信じたらいいのかわからない世の中になった気がします。我々が身を置く医療福祉の世界は、世間では比較的安定した業種と見られているようですが、とんでもないという事は皆様が一番よくご存知と思います。

これまでも私達は人手不足、診療報酬引き下げなどから常に山積した問題をかかえつつ、それらを現場の職員一人ひとりの創意工夫で乗り越えながら、患者さん達のニーズに応えてきました。そして今日、鵬友会は湘南泉病院、新中川病院、横浜ほうゆう病院、老健施設阿久和鳳荘の4施設を中心に地域の医療福祉に貢献すべく、今までも増して日夜頑張っております。

横浜ほうゆう病院は昨年11月横浜市旭区民文化センター・サンハートにて認知症の世界的権威、小阪憲司院長主催の市民講座を開き、お蔭様で大変な好評を博しました。(一部入場できなかった

方もおられた由、その方達はこの紙面を借りてお詫び申し上げます。)

新中川病院では、来る3月7日に福田千文院長による“心安らかに看取る医療とは”という演題で市民講座が開かれます。お時間のある方は是非いらして下さい。

湘南泉病院は昨年、急性期病院として病院機能評価の認定を頂き、今年はDPCの取得を目指して職員一同頑張っております。

阿久和鳳荘は当法人唯一の老健施設として、地元医師会との素早い連携と対応により、高齢者とその家族に寄り添った自立支援を行っております。

これらの施設は単なる技術とサービスの向上だけを目指しているのではなく、職員の責任感と思いやりの心があればこそ、その真価を発揮しているものと思います。

この急速に変化し、何を信じていいのかわからない今こそ、地域の人々に頼って頂ける医療福祉施設として、我々鵬友会が選ばれて生き続けていられるように、これまで一人ひとりが、そして各セクションが行ってきた努力を、更に鵬友会全体のものとして、全職員、心を一つにして邁進していきたいと思っております。

新中川病院 薬局長 仁科 周興

当院では、平成20年11月20日より一般病棟の輸液の調剤を開始いたしました。メリットとしては、処方箋に基づき、処方箋の内容の吟味、患者様に対する用法・用量の適合性、配合薬剤の配合変化、異物混入の有無の確認、医師に対する疑義照会等調剤監査を実施できることです。調製する場所に関してはクリーンベンチがないため、最低限の条件をクリアできるよう考慮しています。

- ・人通りのない、ほこりのない場所で、水場から最低1m以上離れている。
- ・感染性廃棄物等の保管容器から最低1m以上離し調製台の上は整理整頓する。
- ・調製台の上に針棄てボックスを常備し、照明が明るく、照明器具にはカバーをつける。

また、調製に際しては液体石鹸で手を洗い、洗った手をペーパータオル等で完全に乾燥させ、サージカルマスクを着用するよう義務付けています。感染予防などの問題点は、多いと思われませんが患者様へ医薬品を安全に提供する努力をしていきたいと思っております。



新中川病院 看護師長 串田 央子

昨年の年度初め、改革（変わろう）と位置付けられた院長方針が出され、方針に基づき各部署が動き始め、各病棟も患者様・家族にとって何が一番大切か、改めて考える機会と成りました。まず業務改善を行い、今以上にベッドサイドへ行く時間を増やすことは出来ないか？・・・そのような折、薬局がミキシングを検討している最中であると情報がありました。数回の話し合いの後、11月20日まず3A病棟でミキシングが開始され、12月1日より3B病棟も始まり、今後は全病棟実施の予定です。今迄病棟で行っていたミキシングを薬局が行う事で、ベッドサイドへ行く時間が以前より増え、患者様家族への対応もタイムリーに行えるようになりました。結果、接遇等の更なる向上に繋がったと感じています。

新中川病院は、現在進行形で改革のまっただ中です。改めて思う事は各部署が協力体制のもと、「出来ない」ではなく「やってみよう」の心で取り組む力が大切という事、それは患者様家族への満足度に繋がっていくと感じています。



第9回

市民向け医療・福祉講座 お知らせ

テーマ：「心安らかに看取る医療とは」～療養型病院の在り方と夢～

講師：新中川病院 院長 福田 千文

事例報告：看護師長 串田 央子・今成 久美子

訪問看護ステーション 管理者 広瀬 鈴子

日時：平成21年3月7日（土）14時～

場所：新中川病院 2階リハビリ室

お申し込み・お問い合わせ先

\*お電話の場合（9：00～17：00）日曜・祝日の場合

鵬友会本部 担当：上村 045-810-0331

新中川病院 担当：相原 045-812-6161

\*FAXでのお申し込み 鵬友会本部 045-810-0371

参加費  
無料

皆様のご参加、お待ちしております！

